

## 《小学生の部》

佳作（警察庁交通局長賞）

群馬県渋川市立橘北小学校

2年 森川 莉望

## こうつうルールをまもろう

わたしは、まいあさ学校へ行く時に、とう校はんでとう校しています。ほいくえんにかよっている時に、おうだんほどうをわたる時は、車がきていなくてもすぐにわたらず右、左、右をかくにんすること、手をまっすぐにあげてわたることを教えてもらったので、今でもそのこうつうルールをきちんとまもるようにしています。

わたしのすんでいるちいきでは、近じょのおばさんがボランティアでまいあさはたふりをしていています。わたしのおかあさんとおばあちゃんも「ありがたいよね」とよく話をしてしています。

ある日、わたしがあさとう校していた日のことです。いつもボランティアではたふりをしていてくれるおばさんがどうろのはじっこでたおれているのを見ました。わたしは、いつもおばあちゃんと手をつないでとう校はんのしゅうごうばしょまであるいていくのですが、たおれているおばさんを見たわたしのおばあちゃんは、すぐにそのおばさんの近くに行って、「だいじょうぶですか」と声をかけていました。おばさんは青しんごうでおうだんほどうをわたるほかのともだちを見まもっていた時に、しんごうむしをした車にひかれてしまったそうです。いしきは、あったけど足をけがしてうごけなくてきゅうきゅう車ではこばれていきました。いつも見ているおばさんがたおれているすがたを見てわたしは、とてもこわくてかなしくなりました。そのつぎの日からおばさんは、はたふりができなくなっていました。が、「やっぱり見まもっていないとなにがあるかわからないからこんどからばばがはたふりをするね」といってわたしのおばあちゃんがはたふりをしてくれるようになりました。わたしは、それを聞いてとてもあんしんしました。

じ分がこうつうルールをまもっていても、車にのっている人がまもってくれないとじこがおきてしまうことがわかりました。でも時にはじ分がきちんとルールをまもっていないからじこにまきこまれてしまうこともあります。おとなも子どももみんながこうつうルールをまもってじこが一つでもすくなくなればいいなとおもいました。そしてまわりで見まもってくれているおとなの人にかんしゃしなければいけないなと思いました。